2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　　三ツ星ベルト株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5192　URL　https://www.mitsuboshi.com/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　池田　浩
問合せ先責任者　（役職名）　財務部長　　（氏名）　塩津　康司　　TEL　078-685-5630
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　2026年12月３日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	51,389	12.0	6,667	45.0	7,142	40.7	6,410	65.6
2026年３月期中間期	45,868	0.9	4,597	1.1	5,075	18.4	3,870	△36.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5,666百万円(10.2%)　2026年３月期中間期　5,141百万円(－%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	230.13	－
2026年３月期中間期	137.45	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	133,613	103,553	77.5
2026年３月期	129,884	101,619	78.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 103,553百万円　　2026年３月期 101,619百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	90.00	－	101.00	191.00
2027年３月期	－	92.00			
2027年３月期(予想)			－	101.00	193.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	6.2	11,300	30.2	11,800	15.9	11,500	55.6	413.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細については、添付資料Ｐ．８「２．中間連結財務諸表及び主な注記　（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	31,104,198株	2026年３月期	31,104,198株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,392,543株	2026年３月期	3,192,592株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	27,856,383株	2026年３月期中間期	28,159,794株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数（中間期）の算定上控除する自己株式数には、「株式付与ＥＳＯＰ信託口」が保有する当社株式が含まれております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国を中心に底堅く推移したものの、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格及び原材料価格の上昇、高水準で推移する地政学リスク、並びにサプライチェーンへの影響などを背景に、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のなか、当社グループでは、変化にぶれない強い企業体質の確立を進め、2030年度の「ありたい姿」の実現に向け、2024年度から2026年度までの３年間を計画期間とする「'24中期経営計画」を2024年５月14日に公表いたしました。当該期間を成長加速期間として収益性、資本効率性、設備投資額、株主還元、ＥＳＧの各々にＫＰＩを設定し、これらの達成に向け取り組んでおります。当連結会計年度は同計画の最終年度にあたり、各施策の着実な実行を通じて目標達成に努めております。

当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高51,389百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益6,667百万円(前年同期比45.0%増)、経常利益7,142百万円(前年同期比40.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益6,410百万円(前年同期比65.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト〕

自動車部品分野では、売上高が増加しました。電動ユニット（ＥＰＳなど）駆動用ベルトの販売が堅調に推移したため、前年同期を上回る結果となりました。

産業機械分野では、売上高が増加しました。農業機械向けの需要拡大に加え、半導体関連のロボットや射出成形機向けの需要が堅調に推移したことから、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は15,757百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益は4,579百万円(前年同期比30.1%増)となりました。

〔海外ベルト〕

自動車部品分野では、売上高が増加しました。二輪車・多用途四輪車用変速ベルトの販売が各地域において好調に推移しました。加えて、四輪車向け電動ユニット（ＥＰＳなど）駆動用ベルトや、電動二輪車向け後輪駆動用ベルトなどの電動化対応製品の販売が堅調に推移しました。

産業機械分野では、売上高が増加しました。中国を含むアジア地域におけるＶベルト及びタイミングベルトの販売増加が寄与しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は29,323百万円(前年同期比18.7%増)、セグメント利益は3,851百万円(前年同期比81.7%増)となりました。

〔建設資材〕

建築分野向けでは、中東情勢の影響による他社での資材不足に伴う工事遅延や施工現場における人手不足の影響を受け、売上高が減少しました。土木遮水分野向けでは、前年同期に比べ大型の工事物件が少なかったことから、売上高が減少しました。土木防水分野向けにおいても、前年同期に比べ工事物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,837百万円(前年同期比17.1%減)、セグメント損失は56百万円(前年同期は90百万円のセグメント利益)となりました。

〔その他〕

報告セグメント以外のその他には、電子材料、エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、仕入商品などが含まれております。電子材料分野では、半導体及び電子部品向けの導電性ペースト材の販売が堅調に推移したことに加え、銀価格上昇の影響により、売上高が増加しました。

その他の売上高は3,471百万円(前年同期比15.8%増)、セグメント利益は252百万円(前年同期比41.6%増)となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。
なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末は、流動資産が1,626百万円増加、固定資産が2,102百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比3,729百万円増加の133,613百万円となりました。

負債は、流動負債が2,422百万円増加、固定負債が627百万円減少したことから、前連結会計年度末比1,794百万円増加の30,060百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が3,585百万円増加、その他の包括利益累計額が743百万円減少したことから、前連結会計年度末比1,934百万円増加の103,553百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.2%から77.5%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年８月７日に公表いたしました内容を変更しております。

詳細につきましては、本日(2026年11月９日)公表の「2027年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,757	29,156
受取手形、売掛金及び契約資産	19,660	19,896
商品及び製品	17,030	16,393
仕掛品	3,530	3,795
原材料及び貯蔵品	4,617	5,119
その他	2,427	2,274
貸倒引当金	△47	△32
流動資産合計	74,976	76,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,198	31,130
減価償却累計額	△18,107	△18,394
建物及び構築物（純額）	13,090	12,735
機械装置及び運搬具	57,671	58,850
減価償却累計額	△46,560	△46,863
機械装置及び運搬具（純額）	11,111	11,987
工具、器具及び備品	17,781	17,755
減価償却累計額	△15,507	△15,455
工具、器具及び備品（純額）	2,273	2,300
土地	4,048	4,024
リース資産	1,607	1,597
減価償却累計額	△492	△520
リース資産（純額）	1,114	1,076
建設仮勘定	2,891	3,997
有形固定資産合計	34,530	36,121
無形固定資産		
ソフトウエア	570	628
のれん	42	30
その他	34	47
無形固定資産合計	646	706
投資その他の資産		
投資有価証券	18,001	18,461
繰延税金資産	1,215	1,199
その他	524	530
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	19,731	20,182
固定資産合計	54,908	57,011
資産合計	129,884	133,613

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,072	9,526
１年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払金	2,966	3,076
未払法人税等	979	2,250
賞与引当金	886	1,242
その他	3,208	3,438
流動負債合計	18,113	20,535
固定負債		
長期借入金	1,000	500
長期未払金	101	93
繰延税金負債	6,492	6,323
退職給付に係る負債	1,584	1,643
資産除去債務	305	305
株式給付引当金	144	181
長期預り保証金	364	347
その他	159	128
固定負債合計	10,152	9,524
負債合計	28,265	30,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,332	2,374
利益剰余金	73,186	76,772
自己株式	△6,906	△7,856
株主資本合計	76,763	79,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,212	11,515
為替換算調整勘定	13,168	12,142
退職給付に係る調整累計額	475	453
その他の包括利益累計額合計	24,856	24,112
純資産合計	101,619	103,553
負債純資産合計	129,884	133,613

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	45,868	51,389
売上原価	31,716	34,266
売上総利益	14,151	17,123
販売費及び一般管理費	9,553	10,455
営業利益	4,597	6,667
営業外収益		
受取利息	207	219
受取配当金	303	301
補助金収入	－	150
その他	151	155
営業外収益合計	662	826
営業外費用		
支払利息	25	29
固定資産除却損	105	51
為替差損	0	212
その他	53	57
営業外費用合計	184	350
経常利益	5,075	7,142
特別利益		
投資有価証券売却益	369	1,913
特別利益合計	369	1,913
税金等調整前中間純利益	5,445	9,056
法人税等	1,575	2,645
中間純利益	3,870	6,410
親会社株主に帰属する中間純利益	3,870	6,410

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,870	6,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	861	303
為替換算調整勘定	410	△1,025
退職給付に係る調整額	△0	△21
その他の包括利益合計	1,271	△743
中間包括利益	5,141	5,666
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,141	5,666
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

中間連結会計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	2,115百万円	2,450百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	中間連結損益計算書計上額（注３）
	国内ベルト	海外ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,744	24,701	3,424	42,869	2,998	45,868	－	45,868
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,581	936	0	7,518	883	8,402	△8,402	－
計	21,325	25,637	3,424	50,388	3,882	54,270	△8,402	45,868
セグメント利益	3,520	2,119	90	5,731	178	5,909	△1,311	4,597

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、電子材料、エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,311百万円には、セグメント間取引消去642百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,954百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	中間連結損益計算書計上額（注３）
	国内ベルト	海外ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,757	29,323	2,837	47,918	3,471	51,389	－	51,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,105	1,110	1	9,218	854	10,073	△10,073	－
計	23,862	30,434	2,839	57,136	4,326	61,463	△10,073	51,389
セグメント利益又は損失（△）	4,579	3,851	△56	8,374	252	8,627	△1,959	6,667

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、電子材料、エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△1,959百万円には、セグメント間取引消去280百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,239百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。